

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感情を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

3 第2学年及び第3学年の評価の観点の趣旨

(1) 音楽への関心・意欲・態度

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

(2) 音楽表現の創意工夫

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。

(3) 音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表している。

(4) 鑑賞の能力

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。

4 評価(評価の観点、評価の資料・場面・評価方法)

評価の観点	評価の場面・評価方法
(1) 音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・授業態度（観察）・定期考查・関心意欲プリント 歌テストより意欲 など
(2) 音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none">・学習プリント・練習の様子（観察）・定期考查より創意工夫 など
(3) 音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none">・発表演奏や実技テスト（歌・楽器）・練習の様子（観察） など
(4) 鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none">・授業態度（観察）・定期考查・学習プリント、感受学習プリントなど

音楽科指導評価計画案 第2学年〈2・3上〉

月	題材名	題材のねらい	指導事項	教材名 (●…鑑賞教材 ◎…器楽教材)	学習の目標（教科書掲載）	時数 目安	評価規準例と方法【】
4	曲想の変化の理解と表現の工夫	・前半と後半でリズムや音の重なり方が変化することによって、曲想の変化が生まれていることを感じ取る。	歌唱—ア・ウ	大切なものの ●曲想	曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう。	2	歌唱1 リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取って音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取りながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
4 5	声部の重なり方の理解と表現の工夫	・ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それにふさわしい表現を工夫する。	歌唱—ウ	時の旅人	曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫しよう。	4	歌唱1 テクスチュア（和声的な重なりや多声的な重なりなど）の特徴を理解して、それにふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 テクスチュアの特徴を理解して、それにふさわしい音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
				音楽の要素	アレンジ（編曲）の秘密		
			鑑賞—ア	●小フーガ ト短調	声部の重なり方の特徴を聞きとり要素の働きを理解しよう。	2	鑑賞1 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聞き、根拠をもって説明するなどして、音楽の良さや美しさを味わおうとしている。【観】【記】
5	言葉を大切にした歌唱表現の工夫	・言葉と旋律との関係を理解して表現を工夫する。	歌唱—ア	浜辺の歌（心の歌）	言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫しよう。	2	歌唱1 言葉と旋律がどのような関係にあるかを理解して、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 言葉と旋律（旋律のリズムやハーモニーなどを含む）がどのような関係にあるかを理解しながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
6	アカペラの魅力	・いろいろな歌声の特徴を知覚し、それによる味わいの違いを感じ取る。 ・声だけで美しいハーモニーを表現する。	鑑賞—ウ	●アカペラの合唱曲	アカペラによる響きの美しさを味わおう。	3	鑑賞1 歌声の特徴に関心をもち、それによる味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 4 歌声の特徴を知覚し、それによる味わいの違いを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観】【記】 創作1 アカペラのハーモニーをつくることに関心をもち、副次的な旋律をつくりハーモニーをつける学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 ハーモニーを感じ取りながら、どのような副次的な旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。【観】【記】
				アメイジング・グレイス			
			創作—ア	音のスケッチ	リズムを作って、ハーモニーをつけてみよう！		
7	旋律線を生かした表現の工夫	・旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。	歌唱—ア	時の旅人	旋律の動きを理解して表現を工夫しよう。	3	歌唱1 旋律線に関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 旋律線を知覚し、その動きが生み出す曲想を感受しながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
				Let's Try !	指揮を学んで歌に生かそう		

8		器楽—ア・イ	◎ギター及びリコーダーや打楽器、鍵盤楽器を使用する。	自分の楽器を選んで合奏の楽しさを味わおう。	2	器楽1 旋律線に关心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 基礎的な奏法を生かしながら、旋律線を知覚し、その働きが生み出す曲想を感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。【聴】	
9	言葉によるリズム アンサンブル	・アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照などの構成を理解して表現を工夫する。	歌唱—イ・ウ 創作—イ	かえるがそらを	リズムの反復、変化、重なり方のおもしろさを味わおう。	2	歌唱1 言葉の抑揚やリズム、反復、変化、対照などの構成や音の重ね方などに关心をもち、それらを生かして表現する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 反復、変化、対照などの構成や音の重ね方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 読譜力や、拍に合わせたヴォイスリズムの表現など、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて表現している。【聴】
				音のスケッチ	曲のしきみを知り、動機を生かした旋律をつくろう		創作1 言葉の抑揚とリズム、反復、変化、対照などの構成や音の重ね方などに关心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して音楽をつくる学習に主体的に取り組んでいる。【観】【記】 2 言葉に応じたリズムや、反復、変化、対照などの構成や音の重ね方などを工夫し、どのようにアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 言葉の特徴を生かし、音楽の構成や音の重ね方を工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。【聴】【記】
9	動機の展開を伴う 形式のおもしろさ	・モティーフ（動機）がどのように使われているのかを探りながら「ソナタ形式」のしきみを理解し、それが西洋音楽の特徴の一つであることを知る。	鑑賞—ア	●交響曲第5番 ハ短調	曲のしきみに注目して名曲を楽しもう。	2	鑑賞1 オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組合せ方、ソナタ形式や構造と曲想との関わりに关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 4 オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組合せ方、ソナタ形式や構造を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。【観】【記】 4 「交響曲第5番」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観】【記】
10	日本の歌の美しさ を求めて	・歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫する。	歌唱—ア	荒城の月（心の歌）	曲のもつ情緒を味わいながら歌おう。	4	歌唱1 歌詞の内容や、歌詞と旋律の関わり、曲想に关心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 歌詞の構成と曲の形式との関わりを理解し、それが生み出す特質や雰囲気を感受しながら歌詞の内容を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
11	世界各地の歌声の 特徴	・曲の特徴と声の音色との関わりを理解して鑑賞する。	鑑賞—ウ	●オーケストラの響きを味わおう ●ポピュラー音楽図鑑	絵画都照らし合わせて聴こう 音楽と人のつながりを知ろう	3	鑑賞1 世界の諸民族のさまざまな音楽の特徴や多様性、歌声の特徴に关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 4 歌声の特徴や音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞している。【観】【記】
12	速度や強弱の変化 を生かした表現の 工夫	・曲の魅力を支えている速度や強弱の働きを感じ取り、それらを生かして表現を工夫する。	歌唱—ア	花の季節、サンタルチア	速度や強弱の変化を生かして、多彩な表現を工夫しよう。	2	歌唱1 速度や強弱の変化の働きに关心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 速度や強弱の変化を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
1 2 3	舞台芸術と音楽	・音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、よさの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かす。感受力を大切にし、色紙等使用して工夫する。	鑑賞—ア・イ	●アイーダ	オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	3	鑑賞1 オペラや歌舞伎について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 4 声の特徴や音色、旋律、テクスチュアなどを知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観】【記】
				●勧進帳	日本の伝統音楽に親しもう。	2	歌唱1 長唄の発声や言葉の発音に关心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 リズムや旋律の特徴を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受し

				民謡を歌う。東京の民謡を中心に学習する。	日本の民謡に親しもう。		ながら、曲にふさわしい声で音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 長唄にふさわしい発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
3	混声合唱へのステップ—さまざまな曲想の表現—	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	歌唱—ア・イ・ウ	卒業式歌・入学式歌・全校合唱 心通う合唱 〔国歌〕 君が代	心を合わせて全校で合唱を作ろう。 齊唱	4 計 40	歌唱1 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】